

統計でみる

『三重の男女共同参画』



男性も女性もみんながいきいきとその能力と個性を十分に発揮することができる男女共同参画社会。

男女共同参画社会の実現は21世紀の最重要課題として位置付けられています。私たちの住む三重県はどのような状況でしょうか？三重県、全国の状況をデータで見ましょう。

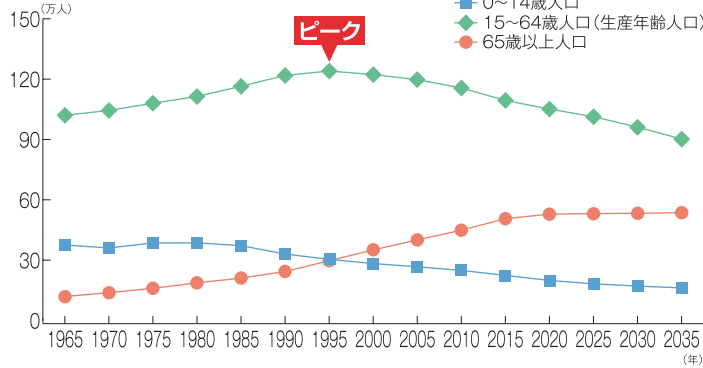
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

人口・世帯

①三重県における人口の推移

総人口=1,862,575人(2009年)

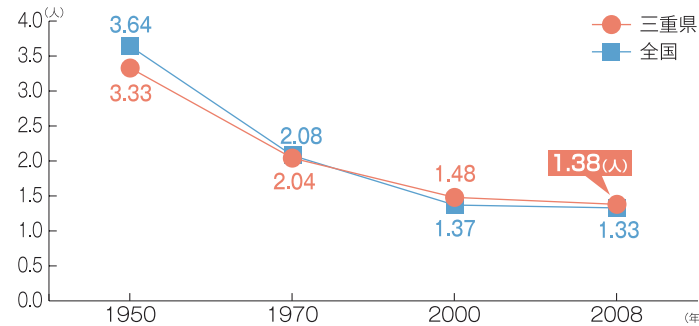
内女性=955,617人(51.3%)、内男性=906,958人(48.7%)



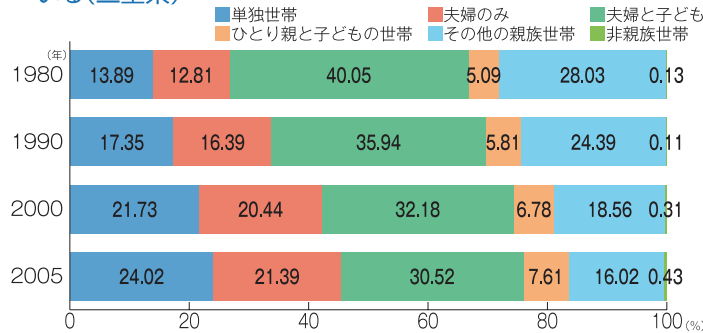
②男女とも平均寿命が高まっている(三重県)

西暦(年)	女性	男性
1970	75.29歳	70.23歳
1990	82.01歳	76.03歳
2005	85.58歳	78.90歳

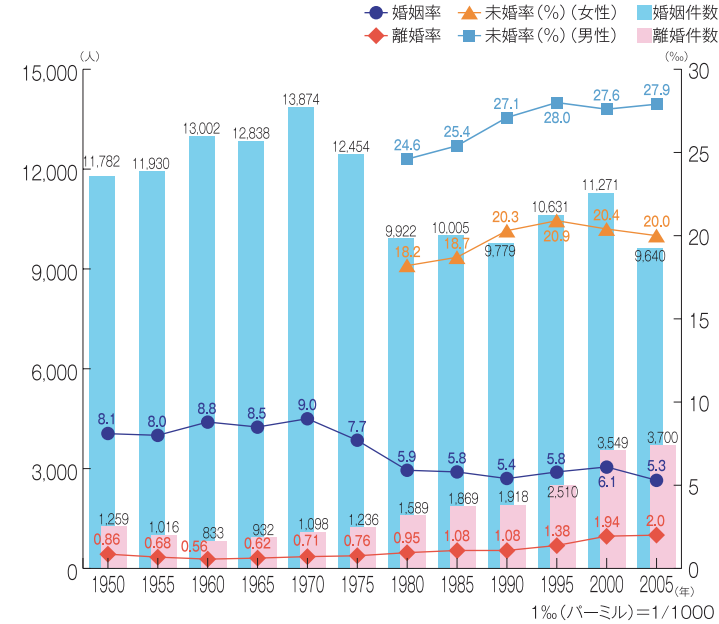
③女性一人当たりの平均出生児数(合計特殊出生率)



④単独世帯、夫婦のみ世帯、ひとり親家庭の世帯の増加が続いている(三重県)



⑤婚姻率は下降傾向、離婚率は上昇傾向にある(三重県)

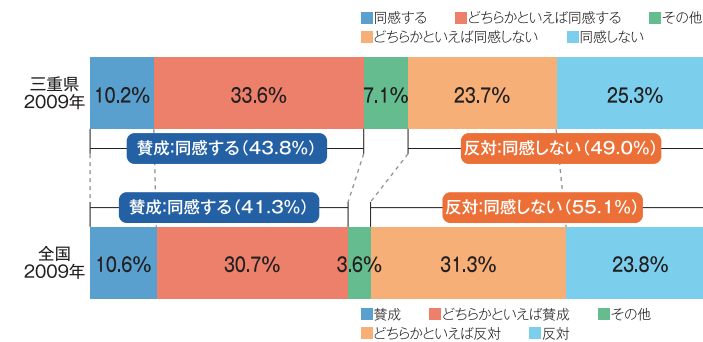


⑥平均初婚年齢は男女ともに高まっている(三重県)

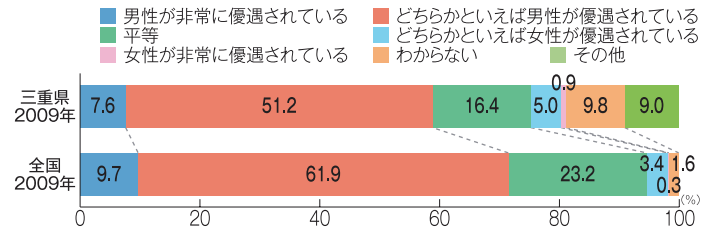
西暦(年)	女性	男性
1950	22.6歳	25.3歳
1970	23.7歳	26.7歳
1990	25.2歳	27.8歳
2000	26.5歳	28.3歳
2005	27.5歳	29.2歳
2008	28.0歳	29.8歳

男女共同参画に関する意識について

⑦「男は仕事、女は家庭」という考え方に「同感しない」人の割合が50%を超えない状況である(三重県)

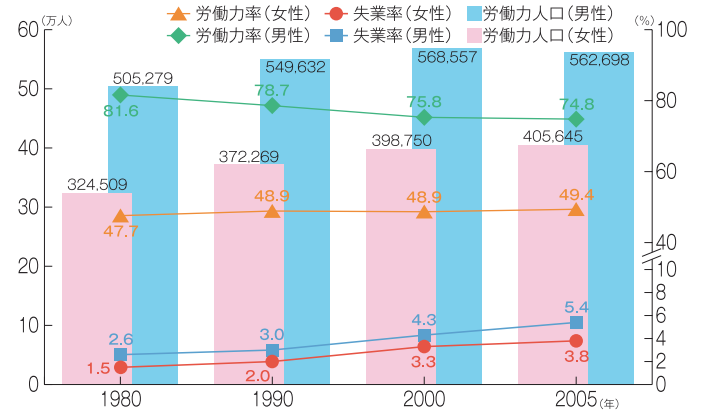


⑧男女の平等感について、「男性の方が優遇されている」と答えた人の割合が58.8%である(三重県)



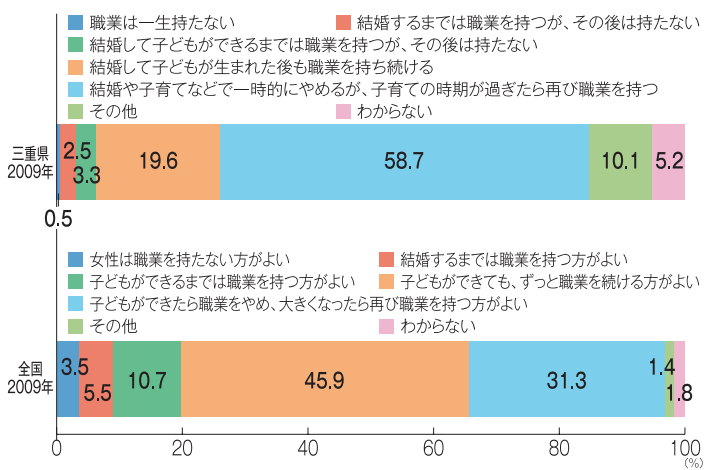
労働

⑨15歳以上における女性の人口の内、労働力率は約50%、男性では約75%である(三重県)

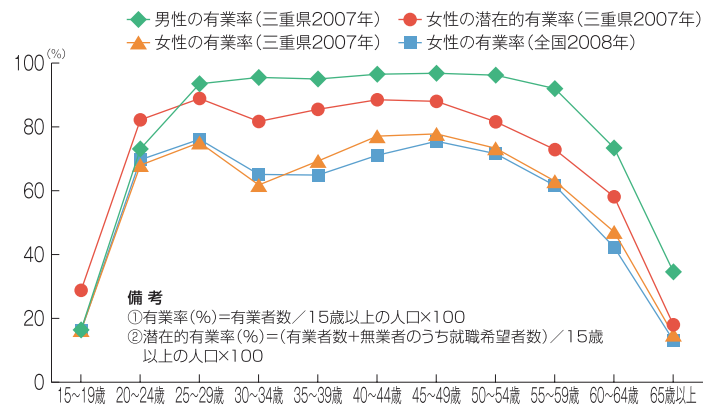


備考:労働力率とは、15歳以上の人口に占める「労働力人口」(就業者と完全失業者を合わせたもの)の割合。

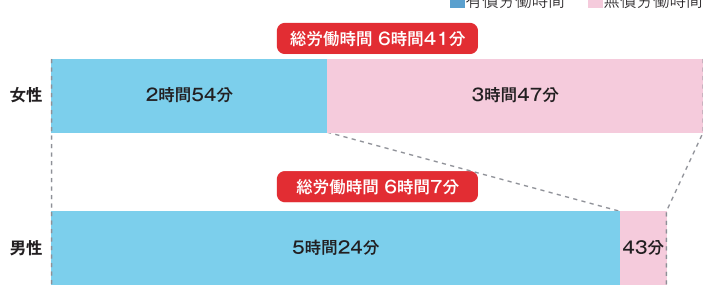
⑩女性の職業への関わり方について「結婚や子育て等で一時的にやめるが時期が過ぎたら再び職業を持つ」という意見が一番多い(三重県)



⑪女性の年齢階級別労働力率は上昇しているが、30~34歳を底とするM字型は残り、三重県の落ち込み方は全国より大きい

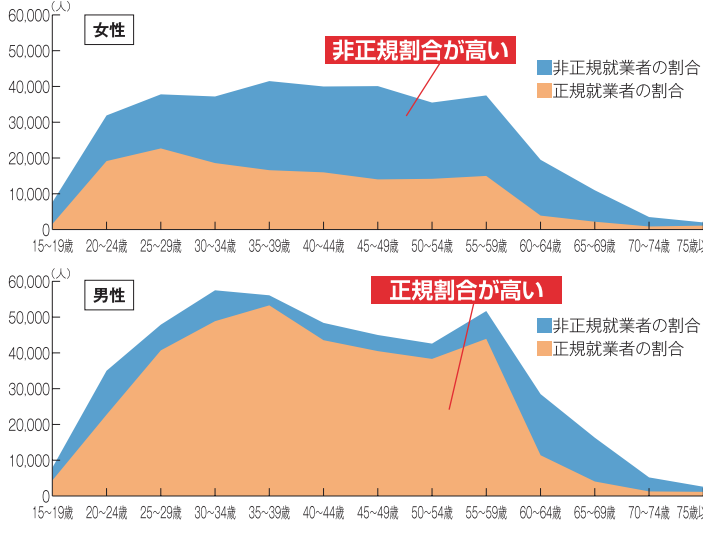


⑫女性の無償労働時間と有償労働時間を加えた総労働時間は男性より長い(三重県、2006年)

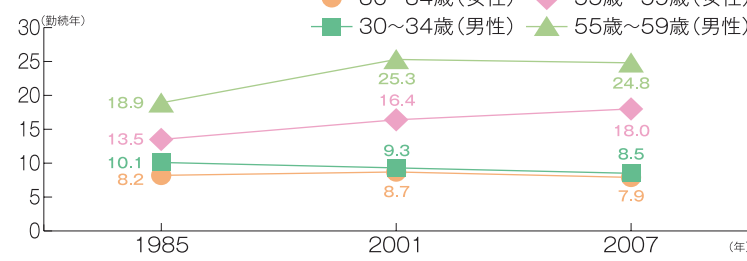


備考:無償労働時間とは、家事、育児、介護、買い物、ボランティアなど収入を伴わない労働

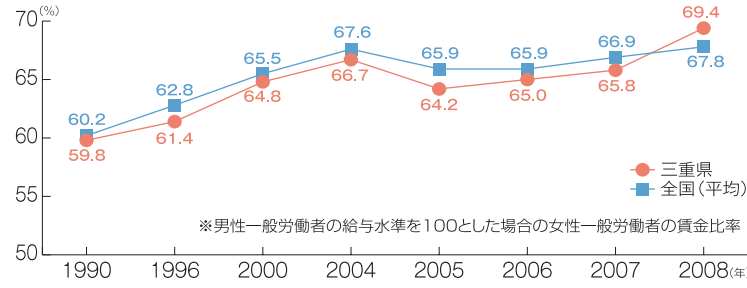
⑬男性に比べ女性の非正規就業者の割合が高い状況(三重県)



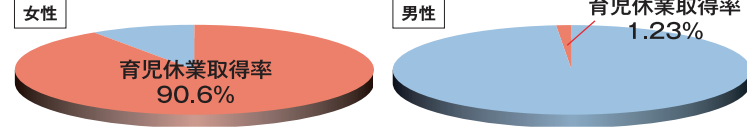
⑭女性の平均勤続年数は伸びているが、男性に比べて短い(三重県)



⑮男女間の所定内給与額格差はわずかに縮小しているが、女性の賃金は男性の約2/3である



⑯育児休業取得者は女性が多く、男性は少ない(全国、2008年)



※介護休業者割合は、常用労働者(100)に対して、女性は0.11%、男性は0.03%。(平成20年度厚生労働省雇用均等基本調査より)(介護休業者は、調査前年度1年間に介護休業を開始した者をいう。)

意思決定の場への女性の参画

国では、「社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%程度になるよう期待する」という目標を掲げています。

⑰県議会議員のうち女性の割合は4%、市町議員では11.9%である(三重県、2009年)

